【Facebook にいただいた４名様の感想です】

① 太鼓も良かったし、刑務官のお話しは非常に良かったし勉強になりました。現場でしか分からないことがほとんどであり、一般論や平均値でものを判断する慣習はダメ🤦ですね。個を出来るだけ尊重しながら対峙することの大切さを教えて頂きました。松本さんも大満足されて快眠されるように願っております。👏

② いつか話をすることがあるかも知れませんが、自分は内容が違う精神障害、精神病に関して子供の頃から関わっています。発達障害を知ったのはサンシップでの大阪の子供たちの映写会からでした。今日の講演会で、今まで関わって来たことを、再確認させていただきました。ありがとうございます。

③ 今日はお疲れ様でした。また、松本さんは発熱されたとのこと、身体をご自愛ください。今日の講演について刑務所の現場についてどこまで話して良いか、かなり苦心されていたのではないかと思いました。共生については、刑務所にソーシャルワーカーを配置されているはずですが、どこまで話して良いかきわどい問題がありますね。でも私達一般人としては、刑務所の幹部の方から直接話が聞ける機会なんてある訳もなく、貴重な時間を過ごさせて頂きました。今回の講演会で、刑務所のことはあまりご存じなく、そして刑務所のことに興味を持たれた方は、毎年富山刑務所で、「矯正展」を開催されていますので見学をお勧めします。「矯正展」では、どのような対処をされているか、掲示物等をもとにスタッフの方が説明もされています。「矯正展」は出店やショー等楽しい催しものもありながら、塀の中の見学もさせてくれます。本日は本当に有難うございました。

④ 8/29 のイベントを拝聴して
先ずはこのイベントの関係者の皆様お疲れ様でした。
大変すばらしい内容でありました。
小林氏の～共に生きる～ですが特に刑務所での障害者雇用での考え方ですが雇用側からの接し方の考え方→実行はとても素晴らしことだと思います。今自分は障害持ちと言う事で（障害支援センター）にてカリキュラム消化に努めてお

ります。また色々な講座、ＦＢなどの情報などから企業の障害者雇用とは国からの命令だから？との思いが強くなりました。詳しくは文字で書くとややこしくなるので省かせてもらいますが１つだけ書かせてもらいますと小林氏の方は企業側（刑務所）が改めて手順書を作成したとの事で障害者と寄り添うという事が感じられました。今自分はナビゲーションブックと言う（自分の取り扱い説明書）の様な物を作成しておりますが内容も企業側に自分が寄り添う形となる全く正反対の形になっております。（当たり前の事かもしれませんが）コロナ禍の中簡単に解雇され給料も少ない、正社員に登用されるかどうかも解らない等、障害者はまだまだ生きて行く上で障壁が高いです。いま自分は障害者雇用として前進をしていきたいのですがコロナの影響もありますが障害者雇用枠の求人率は少ないです。（9 月からの障害者雇用求人月間に期待してますが）また、今回のイベントの模様は是非企業側の方たちにも見ていてほしいものであると思います。